

# がんと漢方



愛知県がんセンター中央病院  
循環器科 波多野 潔

# 漢方は結構、身近に浸透しています。

下の薬は市販されている漢方薬です。

CMなどで、なじみの深いお薬ばかりです。漢方薬と知らないで内服された方もあるかもしれませんね。

## § 風邪、肩こりの薬

カコナール：葛根湯

ルル内服液：葛根湯

## § 肥満改善薬

ナイシトール：防風通聖散

ビスラットゴールド：大柴胡湯

## § 排尿障害

ハルンケア：八味地黄丸

## § 下剤

タケダ漢方便秘薬：大黄甘草湯



# 循環器科と肥満

ここでは漢方以外の医学を西洋医学と表現させていただきます。

循環器科は、心筋梗塞や狭心症など心臓病の治療を専門とする科です。

心臓病の元になる病気に、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病、高血圧、高コレステロール血症があります。

西洋薬は、心臓病、糖尿病、高血圧などに大変優れた効果をもっていますが、なぜか肥満に対する優れた西洋薬はありません。

困ったことに、循環器科の患者さんには肥満の方が多いのです。



# 肥満と漢方

肥満症は心臓病の原因の一つですので治療の必要があります。西洋医学でも漢方医学でも、肥満治療では減食療法が主体になります。西洋医学の肥満治療薬は、3ヶ月程度で効果がなくなり減食療法の補助には不十分です。漢方薬の場合は、減食療法に併用することで肥満の原因や肥満に伴う症状を改善し、体調を維持しながら長期にわたって肥満治療に使用できます。当循環器科では肥満症に漢方治療を行っています。



# 漢方薬の効果はあなどれません。

漢方は、“効果の発現がゆっくりで、あまり効かない”イメージがありますが、そんなことはありません。

漢方薬には、服薬してすぐに効果の現れるものもあります。

冬の腹痛に当帰四逆加呉茱萸生姜湯を熱いお湯に溶いて内服すると服薬後数分で痛みが取れます。狭心症の頓服のニトログリセリンが数分で薬効が現れるように、口腔粘膜から急速に吸収されるのです。

漢方薬は四千年以上かけて作り上げてきたものですので、正しく使用すれば確かな薬効があります。漢方薬の効果はあなどれません。



# 漢方と副作用

漢方薬は、生薬だから安全で副作用がないというイメージがあります。

薬効があれば当然、副作用もあります。

副作用としては肝炎、肺炎、塩分の異常が主なものです。

採血などで適宜チェックを行います。



# 主な副作用の症状

## 1)肺炎:

から咳、息苦しさ、少し動くと息切れ、発熱。

## 2)塩分の異常:

だるい、血圧上昇、むくみ、体重増加、手足のしびれ・痛み、筋肉のぴくつき・ふるえ、力が入らない、不整脈、意識消失

## 3)肝炎:

だるい、食欲不振、吐き気、発熱、発疹、かゆみ、皮膚や白目が黄色くなる、尿が褐色

副作用の頻度は高くありませんが、当科では3ヶ月から6ヶ月毎に副作用チェックします。

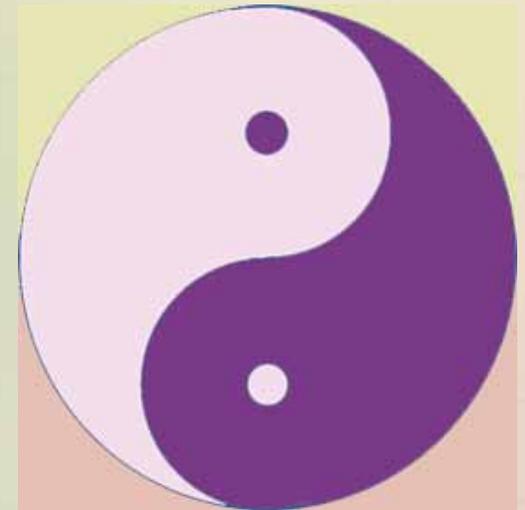


さて

# がんに効く漢方ありませんか？ 漢方で癌が小さくなったという話を 聞いたけど本当ですか？

漢方薬服薬中に癌が治った、小さくなったという報告はあります。しかし、漢方薬を飲んでいて癌が治ったという事があったとしても、癌は自然消退する事も、まれにあります。

したがって、本当に漢方が癌に効果があるのか判定するためには、厳格な科学的証明が必要です。

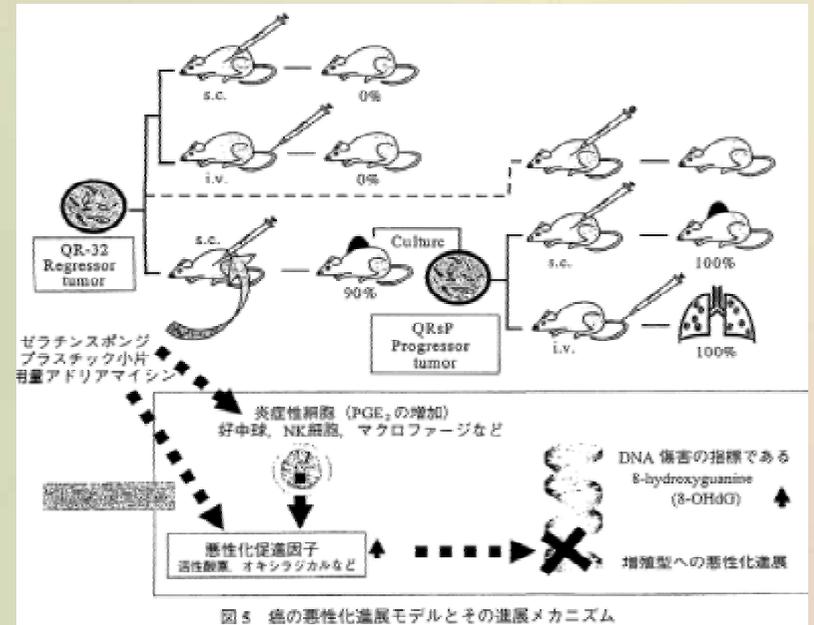


# 漢方薬のがんに対する効果に関する研究

漢方薬が癌に効果があったという動物を用いた基礎研究の報告は多数あります。

この発表の中に出典を掲載しておきますので、興味のある方はお読みになってください。

基礎研究ではなくて、実際に漢方薬を人体に投与して、がんが漢方が効いたという事を科学的に立証した研究は今のところありません。



# がんと漢方の研究は始まったばかり

がんに対する漢方薬の直接効果は動物における基礎研究の段階であり、ヒトのがんに対する効果は今後の研究結果を待つしかありません。

しかしながら、基礎研究で、がんにも有効な結果を持つ漢方薬が、従来より、がんによる体力低下の改善、症状緩和の目的で使用されています。

漢方によるがん治療の詳しいお話を聞きたい方、お試されたい方は循環器科を受診してください。



# がん治療における漢方と西洋医学の併用

攻める：西洋医学は手術、薬物、放射線により積極的にがんを攻撃します。有効率も高いです。がん治療には攻めの西洋医学が必須です。

守る：がんでない正常細胞も、腫瘍やがん治療により攻められています。漢方治療は正常細胞を守ることにより、体力、免疫力などを回復させます。

西洋医学と漢方の併用は可能です。併用により、がんとの戦いを有利に展開させる可能性もあります。

現在、西洋医学によるがん治療を受けて見える方で、漢方によるがん治療のお話を聞きたい方、お試されたい方は、主治医とご相談の上、循環器科を受診してください。



# 漢方薬が癌に効いたという文献リスト1

- 1) Saiki I: Review: A Kampo medicine "Juzen-taiho-to" –Prevention of malignant progression and metastasis of tumor cells and the mechanisms of action-, Biol Pharm Bull 2000; 23: 677-688
- 2) Yamada H, et al(eds): Traditional herbal Medicines for Modern Times Volume 5, " Juzen-taiho-to (Shi-Quan-Da-Bu-Tang) ", Scientific Evaluation and Clinical Applications, CRC Press Taylor & Francis Group, Boca Raton FL, 2005;1-242
- 3) Saiki I, et al: HPLC analysis of Juzen-taiho-to and its variant formulations and their antimetastatic efficacies. Chem Pharm Bull 1999; 47: 1170-1174
- 4) Ohnishi Y, et al: Inhibitory effect of a traditional Chinese medicine Juzen-taiho-to on progressive growth of weakly malignant clone cells derived from murine fibrosarcoma. Jpn J Cancer Res 1996; 87: 1039-1044
- 5) Ohnishi Y, et al: Oral administration of a Kampo medicine, Juzen-taiho-to inhibits liver metastasis of colon 26-L5 carcinoma cells, Jpn J Cancer Res 1998; 89: 206 213

# 漢方薬が癌に効いたという文献リスト2

6) Ohnishi Y, et al: Expression of anti-metastatic effects by Juzen-taiho-to is based on the content of Shimotsu-to constituents. Biol Pharm Bull 1998; 21: 761-765

7) Chino A, et al: Juzentaihoto, a Kampo medicine, enhances IL-12 production by 5 Toll-like receptor 4 signalling pathways in murine peritoneal exudates macrophages. Int Immunopharmacol 2005; 5: 871-882

8) Matsuo M, et al: Organ selectivity of Juzen-taiho-to and Ninjin-yoei-to in the expression of anti-metastatic efficacy, J Trad Med 2002; 19: 93-97

9) Muraishi Y, et al: Effect of interferon- $\alpha$ /D in combination with the Japanese and Chinese traditional herbal medicine Juzen-taiho-to on lung metastasis of murine renal cell carcinoma. Anticancer Res 2000; 20: 2931-2938

10) Mitani N, et al: Inhibitory effect of berberine on the mediastinal lymph node metastasis produced by orthotopic implantation of Lewis lung carcinoma. Cancer Lett 2001; 165: 35-42

# 漢方薬が癌に効いたという文献リスト3

- 11) Ichiki K, et al: Regulation of activator protein-1 activity in the mediastinal lymph node metastasis of lung cancer: Clin Exp Metastasis 2001; 18: 539-545
- 12) Wakabayashi C et al: In vivo anti-metastatic action of herbal medicine Juzen-taiho-to on lung metastasis of murine renal cell carcinoma. Oncol Res 1997;9:411-417
- 13) Wakabayashi C et al: An intestinal metabolite of ginseng protopanaxadiol sapollins has the ability to induce apoptosis in tumor cells, Biochem Biophys Res Commun 1998; 246: 725-730
- 14) Hasegawa H, et al: Cancer prevention by Ginseng via its intestinal bacterial metabolites. Art Village, 2003; 1-149

# 漢方薬が癌に効くという本

漢方で劇的に変わるがん治療:

著者: 癌研有明病院

消化器内科部長 星野恵津夫

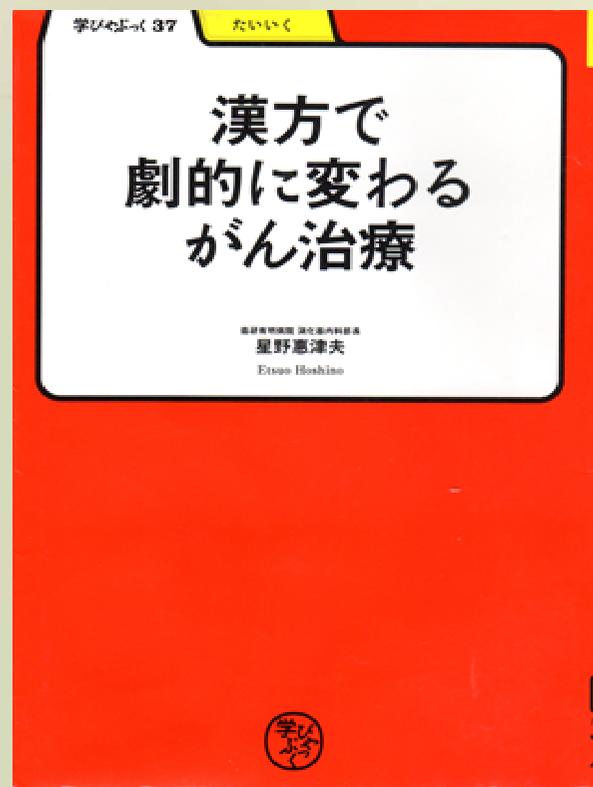
単行本: 185ページ

出版社: 明治書院

ISBN-10: 4625684471

発売日: 2010/07

¥ 1,260



# 最後まで、お読みくださいますて、 有難うございます。

漢方は四千年間の知識の集積です。

この漢方が、がん治療という現代医学で最もホットな局面の一つに歴史的には予想もできなかつたような形で貢献し始めています。

漢方や心臓病、肥満に関して、お問い合わせ等ございましたら、お気軽にご相談ください。

愛知県がんセンター中央病院  
循環器科 波多野 潔

外来日：毎週 月曜日、木曜日

